

## カナダビーフ視察ミッション／2007（5月27日～6月4日）

日本向け供給拡大へ向けた現地生産者の取り組み、熱意を確認。  
人的交流により相互理解を深める。

カナダビーフ輸出連合会（駐日事務所：東京都中央区、代表：坂本智成）では、毎年、カナダビーフ対日輸出拡大に貢献が期待される日本の業界関係者を視察ミッションとしてカナダにご招待し、カナダビーフの生産状況をご自分の目で確認いただき、カナダビーフへのご理解を深めていただいております。10年を超えるその積み重ねの成果は、日本全国のビーフ業界の中において、カナダビーフの理解者を着実に増やすとともに、今後のカナダビーフのビジネス拡大に向けた様々な取り組みを支えていくものと期待されています。

今年度は、カナダビーフ輸出連合会メンバーの中で、加工及び輸出を主たる業務とするカナダビーフエクスポートメンバー（6月1日現在27社）からの推薦をもとに、小売業界から2名、販売および製造業界から2名、外食業界から1名の、計5名の皆さんにご参加いただき、5月27日から6月4日までの日程で実施しました（別紙1参照）。

エクスポートメンバー企業の視察としては、オンタリオ州、ケベック州、アルバータ州にある6社、7工場を訪問。企業規模や安全管理体制、生産体制の特徴などの説明を受けた後、実際に生産現場に足を運んで、そのプロセスの詳細を確認。参加者からはそれぞれ業界の立場を反映した多くの質問が寄せられました。幾つかの工場においては、現在の日本向け輸出条件に合わせた、加工プロセスにおけるきめ細かな対応の説明があり、多くの参加メンバーが高い関心を示しました。



(Photo メンバー企業視察状況)

今回、仔牛肉の生産工場としては初めて、100%ミルク肥育のミルクフェッドヴィールを生産し、カナダ最大規模を誇る、モンリオール郊外のエコレ社を訪問しました。エコレ社は、現在カナダ政府が対日輸出工場として認定する10工場（別紙2参照）のうちの1つであり、すでに対日輸出の実績もあります。欧米市場でも評価の高い高級食材のミルクフェッドヴィールが、今後、日本市場でどのように需要を拡大していくのか注目されます。

カナダビーフの生産状況のすべてをご理解いただくためには、安全で高品質な牛肉を供給するためのスタートとして重要な役割をになう、繁殖農家の実情をご確認いただくことが欠かせません。今回は、カルガリー郊外の繁殖農家を訪問し、農場主から直接、健康な牛を供給するための工夫などについて説明を受けるとともに、暖かいもてなしを受けました。参加者たちは、恵まれた自然環境の中で健康に育てられるカナダビーフを実感するとともに、現場生産者の対日輸出拡大に対する強い期待感も、改めて確認したようでした。

全体で10万頭近くの肥育規模を誇るフィードロット運営会社の視察では、参加者たちは日本では見ることのできないその規模の大きさに目を見張るとともに、耳標データを活用し、あらかじめ20ヶ月齢以下の牛を選抜しておくといった、日本市場を強く意識した取り組みなどが、強く印象に残ったようでした。また、製品供給の終着点であり、消費者との接点でもあるスーパーマーケットでは、カナダと日本の商品展示との違いや共通点などを確認しました。



(Photo 繁殖農家とフィードロット)

特に皆さんの関心が高い、カナダが誇るキャトルIDシステムについては、6月1日、メンバー企業の会議室を借りて、CCIA（カナダ畜牛個体管理局）がプレゼンテーションを行いました。

初日、28日夜のオンタリオ畜牛協会とオンタリオ州政府主催による歓迎レセプションにはじまり、各企業視察後には、各企業主催による歓迎会にも参加しました。時には、企業責任者の自宅に招待されてホームパーティーを満喫するなど、ミッションの全行程を通して心のこもった暖かい歓迎が一行を出迎えました。

視察最終日には、カナダビーフ輸出連合会本部主催によるレセプションに参加し、連合会活動に対するご理解を深めていただくとともに、参加メンバー全員から、今回の視察の印象やカナダビーフの生産、供給体制全般にわたって広範なご意見も伺いました。多くの参加者からは、安全を最優先するカナダビーフの生産体制とともに、対日輸出拡大に向けたカナダビーフ業界を上げた取り組みに対しても、高い評価をいただきました。また、幾つかの参加企業からは、実際の取り引きの可能性についても、前向きかつ具体的なお提案もいただきました。

レセプション終了時には、連合会テッド・ヘイニー会長から、参加者一人一人に視察参加を証明する記念品が贈呈され、カナダと日本の業界関係者が協力し合い、安全で高品質のカナダビーフを、一人でも多くの日本の消費者の皆様へ供給できるよう努力することを確認して、全日程を終了しました。



(Photo 参加メンバー記念撮影と記念品の贈呈)

<添付資料> 1. 日程表 2. カナダ政府認可対日輸出工場リスト

※ニュースリリースは、連合会のホームページ (<http://www.cbef.jp>) にも掲載しています。

お問い合わせ先：カナダビーフ輸出連合会（担当：鬼沢）

TEL:03-3546-6691、FAX:03-3546-6692、e-mail:japan@cbef.com

<カナダビーフ輸出連合会の概要>カナダビーフ輸出連合会は、1989年にカナダ産牛肉の輸出拡大を目的に、カナダのビーフ業界およびカナダ政府機関によって設立された非営利団体です。日本事務所は同年、東京に開設され、以降、日本の皆様へカナダビーフを受け入れていただくための活動を続けています。本部はカナダ、アルバータ州のカルガリー市に置いています。